

第3章 マプト市の概要と道路交通状況

3 - 1 概要（自然状況、社会経済状況）

マプト市の今回調査において得た自然条件、社会経済の現状は以下のとおりである。

（1）自然状況

マプト市はモザンビーク共和国の南端で、北は南緯 25 度 49 分 09 秒、南は 26 度 05 分 23 秒、東は東経 32 度 26 分 15 秒、西は 33 度 00 分 15 秒に位置する。

マプト市の東はインド洋に面し、北は内陸に連なり、西はインフレネ川を境にマトラ市に接している。南はマトラ河口を挟んで対岸にカテンベ地区がある。

地勢は全体的に平坦で高い山はないが、旧市街地の南東の突端が岬状に高地となり、高いところで標高 66 m に達している（図 3 - 1 - 1 参照）。そして内陸に向かって、扇形状になだらかに起伏しながら傾斜している。市街地はこの高地部を中心に低地に向かって発達している。

高地部は赤い砂質土に覆われ、低地部には黄色から白色の砂質土がみられる（図 3 - 1 - 2、図 3 - 1 - 3 参照）。

市内に河川はなくマトラ市との境にインフレネ川が流れている。

気候は熱帯サバンナ気候で、乾季は 4 ～ 10 月、雨季は 11 ～ 3 月で、7 月（冬）の平均気温は約 18℃。1 月（夏）の平均気温は約 27℃である。

最近の観測では最高気温は雨季に 40℃を超えることもあるが、平均最高気温は 35℃前後である。最低気温は乾季で 11℃である。

降雨量は通常は年間 900mm 程度である。しかし、雨季には今年の 2 ～ 3 月のように、異常気象による大洪水がもたらされることもある。

国家気象院での情報によると、今年の 2 ～ 3 月の降雨量は 2 / 1 ～ 9 の 9 日間で 370.5mm で、2 / 9 には気象院観測所で 243mm、空港観測所で 450mm という、未曾有の降雨量を記録している。

今年の 2 ～ 3 月の降雨はサイクロンだけによるものではなく、インド洋からのサイクロンと北からの寒冷前線がモザンビーク領内でぶつかり、雨雲が動かずに停滞したためである、とのことであった。こういった気象状況は最近では 3 年前に、また 50 年前にも記録があるが、雨季に洪水をもたらすような気象はこのようなタイプが最近では多くなってきている。

（2）社会経済状況

マプト市は旧マプト市と市に併合されたカテンベ（Catembe）地区とイナカ（Inhaca）島からなっている（図 3 - 1 - 4（1）、図 3 - 1 - 4（2）参照）。

マプト市の面積はマプト河口の対岸に位置する Catembe 地区、及び Inhaca 島も含めて、316km²である。

マプト市は同国の首都であり、政治経済の中心である。

1998 年時点では人口は男性が 48 万 8,352 人、女性が 50 万 8,916 人で合計 99 万 7,268 人である。2000 年には 1,000 万人を超えると予想されている。

労働人口は 30 万 959 人であるが、その 35.9%が商業、公務員が 12.9%、サービス業となっており、続いて工業従事者 9.8%、農漁業従事者 9.6%となっており、この事実からも同市の社会経済の活動が盛んであることが推察される。

初等教育人口：30 万 6,982 人、中等教育人口：4 万 9,833 人、専門課程教育人口：1 万 432 人に対し公立の教育施設は初等教育学校はグレード 1 及び 2 を含めて、124 校あり、専門学校は 10 校ある。一方私立の初等教育学校は 56、専門学校は 36 がある。その他、成年者の教育施設が 37、大学が 1 校ある。教育施設の分布状況は図 3 - 1 - 5 - 1、2、3 に示されている。

医療施設は病院 4 か所、保健センター 16 か所、保健所 19 か所あり、ベッド総数は 2,302 床である。医療施設の分布状況は図 3 - 1 - 6 に示されている。

農業は年々その生産量が減っており、豆類と唐辛子等が増産になっているが、都市化が郊外に伸びており、耕作面積が減っている。

漁業はその収穫量が増えており、1997 年から 1998 年にかけて 36.1%の伸びを示している。

その他の食品加工業、衣料、木工、アート、化学工業、鉱業等のその他産業は 1997 年から 1998 年にかけて 11.3%の伸びを示している。

マプト市には最近南アフリカ系のスーパーマーケットが進出し、活況を呈しており、市の中心部にもいくつかのスーパーマーケットが店を開いており、一般の商店にも商品が豊富に出回ってきており、購買力が出てきていると推察される。

ちなみに、統計資料によると月ごとのインフレ率は 1996 年頃からマイナスのインフレを見せはじめ、1997 年、1998 年と 3 月から 9 月まではマイナスで年末年始はプラスになる傾向を示している。

治安状況もよくなってきており、道を歩いていて不安感を感じないほどである。

欧米系のレンタカー会社も進出しており、外国観光客も良く見かけるようになってきている。

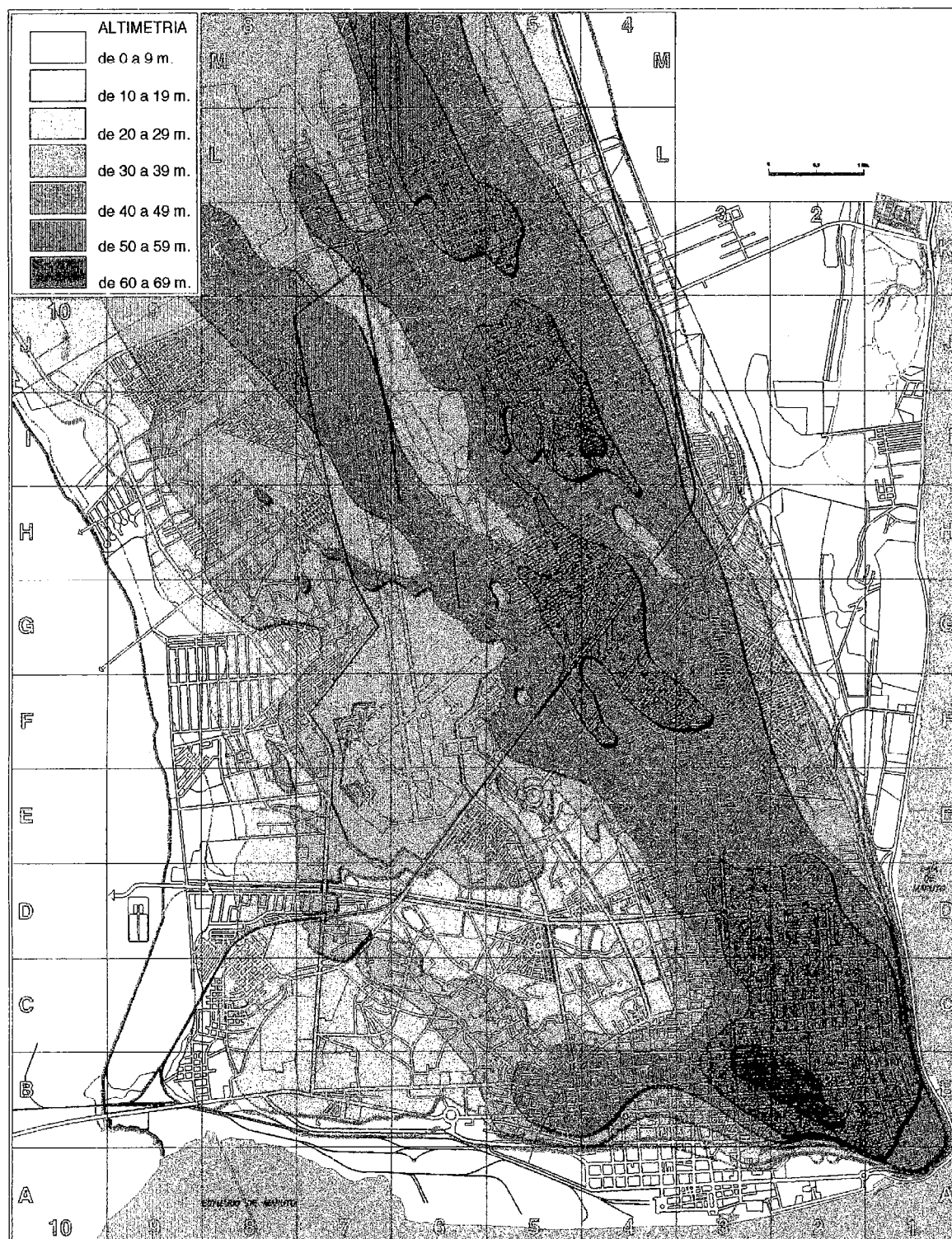


ENDEREÇAMENTO DA CIDADE DE MAPUTO ALTIMÉTRIA

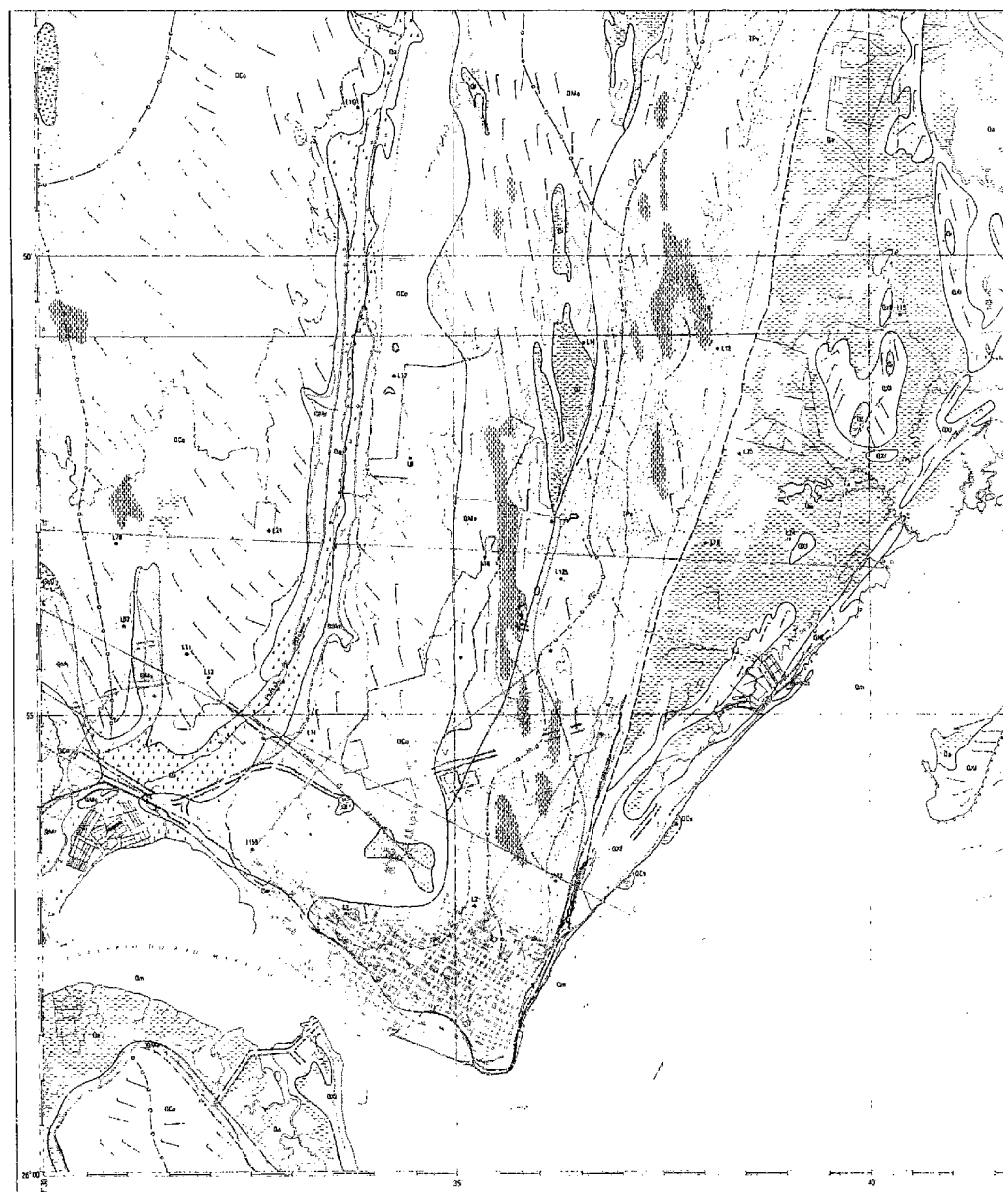
CONSELHO MUNICIPAL DE MAPUTO
GABINETE DOS SERVIÇOS MUNICIPAIS DE ENDEREÇAMENTO



图 3.1-1 标高图



Direitos do Autor CMCM



LEGENDA

- Qm** DEPÓSITOS DE PRAIAS E TIDIAIS
Arenas brancas e vasas, em parte temporariamente submersas
- Qa** DEPÓSITOS ALUVIONARES
Argilas escuras fluviatís com intercalações de níveis carbonatados e salíferos, de influência marinha
- Qr** DEPÓSITOS INTRADUNARES
Arenas brancas que ocupam as depressões interdunares, resultantes de remobilização das águas circundantes
- QX** FORMAÇÃO DE XEPINA
Arenas de dunas costeiras e areais areníticas fósseis, do núcleo das dunas
- QCo** FORMAÇÃO DA COSTA DO SOL
Gres calcário mal consolidado, com fósseis marinhos (Gres costeiro), subaflorante
- QCo** FORMAÇÃO DE CONGLOTE
Arenas grosseiras a finas, mal consolidadas, de tonalidade branca, amarela ou alaranjada (lençol de areia)
- QMa** FORMAÇÃO DE MALHAZINE
Arenas grosseiras a finas, de dunas interiores fixas com tonalidades avermelhada ou branca
- QMe** FORMAÇÃO DA MACHAVA
Alternâncias argilo-arenosas, de tonalidade amarela, com intercalações de níveis carbonatados e salíferos, de concreções ferruginosas, e conglomerado basal com ortofactos
- QMa** FORMAÇÃO DA MATOLA
Alternâncias argilo-arenosas semelhantes às da Formação da Machava, situadas a nível topográfico mais elevado
- TPv** FORMAÇÃO DA PONTA VERMELHA
Arenas siltes e grés vermelhos passando a amarelados e, localmente, com concreção ferruginosa no topo
- TSa** FORMAÇÃO DE SANTIAGO
Gres argiloso, gres calcários com *Ostrea Culeta* na parte superior
- QIn** FORMAÇÃO DE INHARRIME
Gres finos, siltes e argilas impregnadas de matéria orgânica, e intercalações de gres calcários

Dunas interiores

图 3.1-2 地質平面图

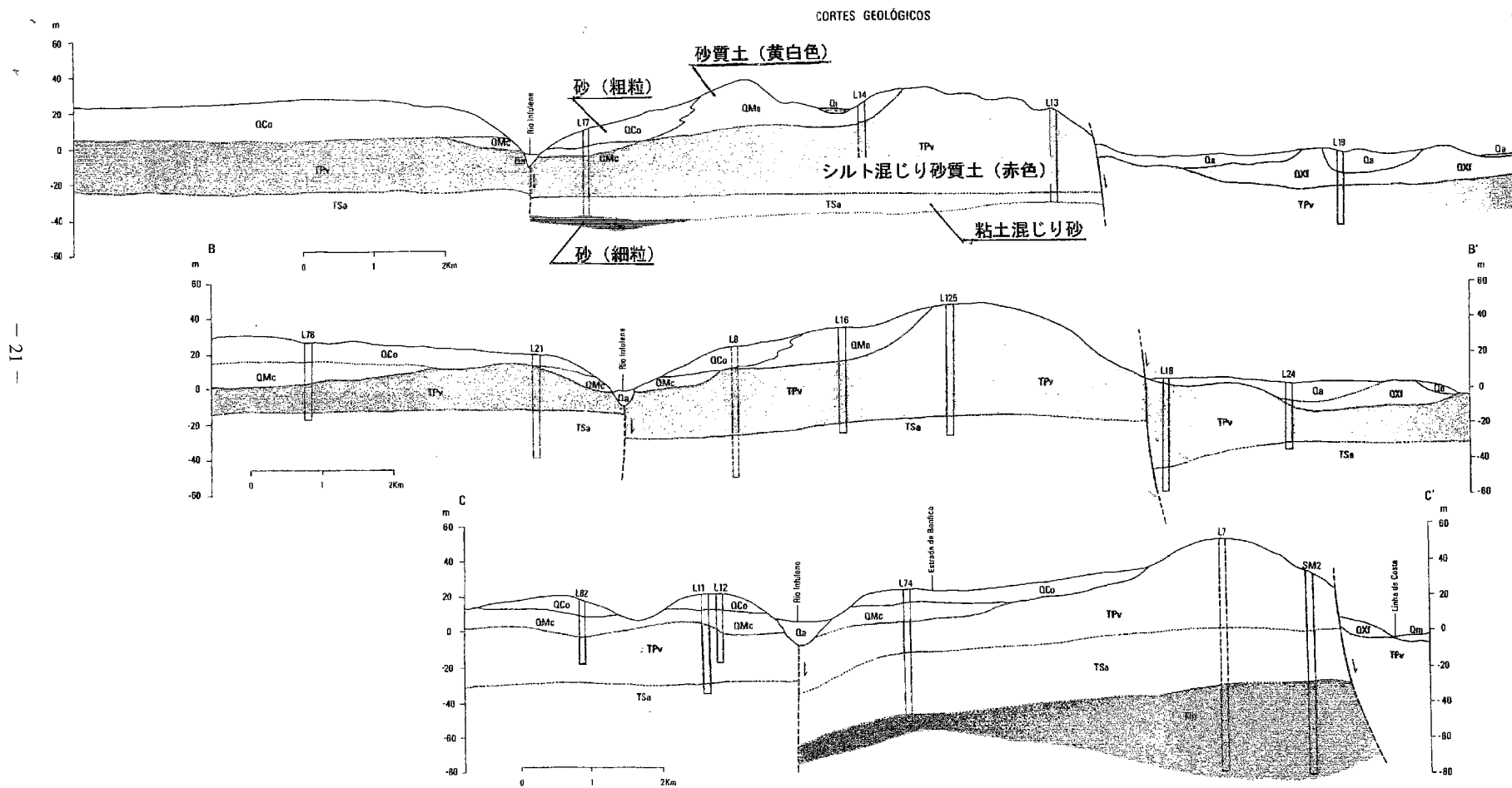


図 3.1-3 地質断面図

図 3.1-4(1) マプト市と周辺自治体の境界図

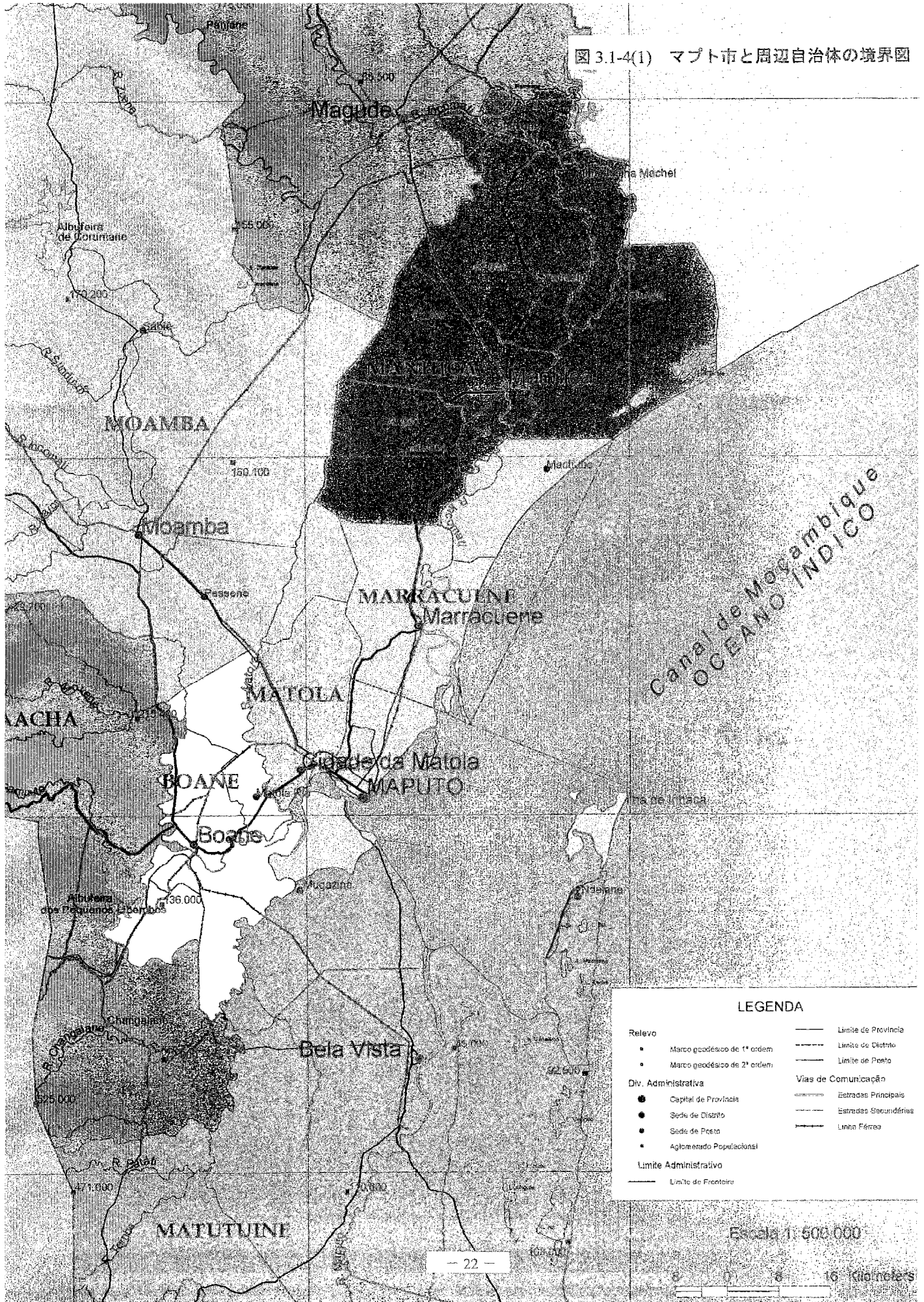


図 3.1-4(2) マプト市行政対象地域

